

(別記様式)

令和7年度 府立宮津天橋高等学校宮津学舎 学校経営計画(スクールのマネジメントプラン)(実施段階)

| 学校経営方針(中期経営目標) | 前年度の成果と課題 | 本年度学校経営の重点(短期経営目標) |
|---|---|---|
| <p>【スクール・ミッション】 建築科・普通科を設置する学舎制高校として、探究的で質の高い教育活動を推進することにより、知識を深めて個性や能力を伸ばし、主体的に人生を切り拓いていくことができる生徒を育み、我が国や地域の発展に貢献するリーダーを育成する。</p> <p>【教育理念】 真理と正義を希求し、豊かな人間性を備え、幸せな人生と社会を創造する人間を育成する。</p> <p>【教育目的】 我が国や地域社会の発展に貢献する「社会的使命感と青雲の志」を持つ人間の育成</p> <p>【スクール・ポリシー(三つの方針)】</p> <p>1 育成を目指す資質能力に関する方針(このような力を育てます) ～社会的使命感と青雲の志～</p> <ul style="list-style-type: none">幅広く深い知識と教養を身に付け、豊かな情操と道徳心を培う。自主自律の精神を養うとともに、主体的に社会の形成に参画し、その発展に貢献する。伝統と文化を尊重し、郷土を愛し、地域社会を守り受け継ぐとともに、国際社会の平和と発展に寄与する。 <p>2 教育課程の編制及び実施に関する方針(このような教育活動を行います) ～しなやかな思考と豊かな人間性や感性を持った「自立する個性」～</p> <ul style="list-style-type: none">「授業第一主義」のもと、進路実現に向け、偏りのない学力と深い知識と教養を身に付けるとともに、未来を担うリーダーの資質を養う。探究的で実践的な活動を通して、他者とながら新しい価値を生み出そうとすることで主体的に社会の形成に参画し、自身と社会のwell-being(幸福)につなげる姿勢を育てる。普通科特進クラスでは、質の高い高度な学びと活動で、より幅広い視野と深い教養を身に付け、難関を乗り越えるための意志力と才能を磨く。建築科では、基礎学力の定着と専門性の向上を図るとともに、多様な地域連携を通じた学びの中で人間性や感性を磨き、積極的に地域社会に貢献しようとする態度を養う。 <p>3 入学者の受入に関する方針(このような生徒を待っています) ～夢見る個性、夢追う個性、夢叶える個性～</p> <ul style="list-style-type: none">高い志を持って主体的に学び、楽しみながら自身の個性や能力を伸ばしたい生徒学校行事、探究活動や部活動等あらゆることに進んで挑戦したい生徒試行錯誤を重ねながら問題に立ち向かい、新たな価値を創造する意欲のある生徒特に特進クラスについては、将来の進路について明確な目的意識とその実現に向けての向上心を持ち、さらなる高みを目指し挑戦し続ける生徒 | <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none">○観点別評価に関する校内研修等により指導力の向上に努めた。○延べ18名の教員が先進校の視察をおこないその学びを共有した。○両学舎の全校生徒が一同に集まり芸術鑑賞を実施するなど一体感のある学校づくりを進めた。○探究活動等において、具体性の伴った活動が一定の成果を上げた。また、大学関係者や外部機関との連携を拡充し、地域社会に目を向けた取組が充実できた。○計画的に担任面談や学年部長面談を実施するなど生徒の状況把握に努めることができた。○各種進路行事を通じて、生徒の進路意識の向上を図った。特に、3年生の希望進路の実現に向けては、組織的に支援を行い、国公立大学39名、公務員2名、就職内定100%という進路実績を達成した。○1つの学舎のみに設置されている部活動に、両学舎の生徒が参加できる体制に拡充した。○特別支援会議を新たに実施し、関係分掌や教職員が連携した生徒支援を行った。○DXハイスクール校として設備を充実した。○インスタグラムを活用した発信を新たに開始し、本校への理解と信頼を広げるための広報活動を計画的に進めた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none">●「我が国や地域の発展に貢献するリーダーの育成」のため、多様な生徒の関わり合いを意識した取組の拡充●一体感のある学校の構築と学舎ならではの教育をさらに推進するための教職員の意識●探究活動等をキャリア形成につなげる支援●探究活動等の発表会などを多くの方が参観できる工夫●これまでの取組の枠にとらわれない地域連携や地域貢献の在り方●DXハイスクール事業で整備された施設設備を活用した取組●生徒の規範意識が不十分な行動等について、全教職員で一貫した指導体制の構築●自転車マナーの向上など交通安全教育●SCやSSW等と効果的に連携した校内における支援会議の在り方●個人情報保護の観点をしっかり意識した広報活動●質の高い高度な学びを支えるため、生徒の実態に応じた教科等の指導力 | <ol style="list-style-type: none">1 高度な知力や教養と、豊かな人間性を備えた未来の社会に貢献できるリーダーを育てる質の高い教育を提供する。また、それを担保するために、教職員の資質向上と教育課題に組織的に対応する体制を充実させる。2 学舎制高校として学舎、学科を越えた一体感のある学校づくりを目指すとともに、宮津学舎ならではの特色を伸長させる。3 探究活動や課題学習を通して生徒一人ひとりの優れた能力・適性を伸張させ、自身の未来(希望進路の実現)を切り拓く力を育む。4 部活動、体験活動、ボランティア活動や学校行事を通して視野や知見を広げるとともに、協働性や社会的使命感を育む。5 命と人権を尊重する態度を育てる教育活動を充実させるとともに、問題行動等に組織的に対応し、安心・安全を保障する学校づくりを進める。6 家庭・地域社会と一層の連携を図り、チームとして教育活動を充実させる。 |

| 評価領域 | 重点目標 | 具体的方策 | 評価 | 成果と課題 |
|---------------|---|--|--|---|
| 学校経営 組織運営 | <p>○高度な知力や教養と豊かな人間性を備えた未来の社会に貢献できるリーダーを育てる質の高い教育を提供する。また、それを担保するために、教職員の資質向上と教育課題に組織的に対応する体制を充実させる。</p> <p>○学舎制高校として学舎、学科を越えた一体感のある学校づくりを目指すとともに、宮津学舎ならではの特色を伸長させる。</p> | <p>○全学年タブレット端末導入、新学習指導要領・観点別評価の対象となるため、前年度までの課題を整理し、教育の質の向上を図る。また、各種研修やOJTによる指導力の向上に努める。</p> <p>○DXハイスクール校として充実させたICT機器等の施設設備を活用し、教職員・生徒共にDX人材の育成を図る。</p> <p>○学舎間の諸課題を整理し、その解決・改善に努め、学舎間の教育活動の交流を充実させることで、より一体感のある学校を構築する。同時に、各学舎の強みを相互に生かすことで、宮津学舎ならではの教育実践の特色を伸長させる。</p> | <p>B</p> <p>B</p> <p>C</p> <p>A</p> <p>A</p> | <p>○タブレット端末と教室のプロジェクタを効果的に活用して、質の高い授業を実施し、研修に加えて公開授業でノウハウを共有することができた。タブレットを目的外使用する生徒への指導が必要である。</p> <p>○DXルーム(d-lab)を徐々に整備し、ハイスペックPCやネットワークを活用して、加悦谷学舎との遠隔授業を行うことができた。DX人材の具体的な育成について課題が残っている。</p> <p>○探究活動の発表や芸術祭などを学舎合同で実施することで、一体感のある学校の構築をすすめることができた。</p> |
| 学習指導 進路指導 | <p>○探究活動や課題学習を通して生徒一人ひとりの優れた能力・適性を伸張させ、自身の未来(希望進路の実現)を切り拓く力を育む。</p> | <p>○探究活動や課題活動の中で、生徒が主体的に学び、感性を磨く機会となる指導の在り方について年次更新を進め、生徒のキャリア形成と成長に繋げる。</p> <p>○それぞれの生徒の主体的な進路選択に向け、組織的かつきめ細かい支援体制の下で、生徒の希望進路の実現に繋げる。</p> | <p>A</p> <p>A</p> | <p>○生徒の主体性を生かした教員の伴走と地域の社会人の協力によって生徒の好奇心に火をつけることができた。</p> <p>○担任面談や学年部長面談などを通じて、生徒の主体的な進路選択を支援することができた。また、進路実現に向けて組織的に指導を行うことができた。</p> |
| 生徒指導 特別活動 | <p>○部活動、各種体験活動や学校行事を通して能力と可能性を広げるとともに、自主自律の精神、協働力や社会的使命感を育む。</p> | <p>○各場面で他者への理解、思いやりを持ち、規則の目的を主体的に考えて行動できる生徒の育成を常に意識した生徒指導を行う。</p> <p>○生徒の成長のために重要な役割を果たす部活動、ボランティア活動、各種学校行事などの機会を充実させ、生徒の人的成長に繋げる。</p> | <p>B</p> <p>A</p> | <p>○問題行動に対して生徒とともに課題に向き合い、あるべき姿を考えさせる指導を、組織的に行うことができた。問題が大きくなる前に全教員が当事者意識を持って指導にあたる必要がある。</p> <p>○生徒会が中心となって体育祭の内容を企画し運営を行い、多くの生徒にとって満足度の高い行事を完成させた。</p> |
| 健康安全 | <p>○命と人権を尊重する態度を育てる教育活動を充実させるとともに、問題行動等に組織的に対応し、安心・安全を保障する学校づくりを進める。</p> | <p>○人権感覚の涵養をベースとした規範意識の向上を図り、いじめ等につながる行為を見逃さない。</p> <p>○時宜に応じた面談や声かけ、家庭や関係機関との緊密な連携を図りながら思春期の心の揺れを受けとめ、常に情報を共有し、チームで生徒の成長を支援する。</p> | <p>A</p> <p>A</p> | <p>○年間計画に基づき、幅広い分野の人権教育を行うことができた。いじめにつながる行為について速やかに指導を行った。</p> <p>○教育相談会議などで生徒の情報を共有し、組織的な連携をとることができた。</p> |
| 家庭・地域 社会連携 | <p>○家庭・地域社会と一層の連携を図り、チームとして教育活動を充実させる。</p> | <p>○地域のさまざまな教育資源を積極的に活用するとともに、外部団体・機関との連携の拡充を図り、幅広い学力と郷土愛の醸成に努める。</p> <p>○総務企画部を中心に、各分掌・部活動等が連携して広報活動を効率的かつタイムリーに発信することで、本校への理解と信頼を広める。</p> | <p>A</p> <p>B</p> | <p>○大学関係者や外部機関との連携によって、幅広く探究活動を進めることができた。担当者との事前打合せの時間を十分に取し、生徒の個人情報保護に努める。</p> <p>○広報活動を充実し、特にInstagramの発信を効果的に行うことができた。また、生徒の肖像権に対する教職員の意識も高められた。さらに本校への理解がすすむように継続が必要である。</p> |

| | |
|----------------------------------|---|
| <p>学校関係者 評価委員会 による評価</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○卒業生185人が厳粛な式の中、真剣な目で前を向いて座り、胸を張って退場する姿が、教育成果を象徴していた。 ○学舎間が連携し、天橋としての「とがり」が似合う学校になってきた。 ○探究活動を通して、地域課題を考えることにより地域への愛着が上がってきている。 ○生徒指導において、何かをするなというより、これをしようという指導がよいのではないか。プラスの同調圧力が集団の力になる。 ○生徒指導についてより高い目標を持って前向きに低い評価をしている様子が伝わってくる。今後も期待したい。 ○自分で選んだ学校だから、その学校のルールは守ると思える生徒を育てる。 |
|----------------------------------|---|

| | |
|--------------------------------|---|
| <p>次年度に 向けた改善の 方向性</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○「統一と個性」をキーワードに、全体に共通する目線合わせとともに、個性を伸ばす指導も行うバランスを取っていく。 ○社会の風潮は自由が良いとされているが、天橋は厳しいけれど力が伸びる学校としての存在感を出すのがよい。誰でも来てくださいというより、こういう覚悟や夢を持った生徒が来てくださいという学校になってほしい。 ○小・中学校との連携を進め、高校での学習を理解し、小・中学校の授業を展開できるような取組も考えてみてほしい。 ○学校で全て抱えるのではなく、医療や警察や行政などの専門家と連携し、生徒をつなぐことが今後も重要であるとともに、卒業後の社会とのつながりも作っていく。 ○A Iの時代において、人と人のつながりがより重視される。そのため、人を通して学ぶことを大切にしてほしい。 |
|--------------------------------|---|